

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	KORINキッズ サポートクラブ		
○保護者評価実施期間	2025年3月1日 ~ 2025年3月21日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2025年2月17日 ~ 2025年3月1日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4月7日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	特に多動の子供達に対するアプローチを得意としているので、徐々に集合姿勢が整い、切り替えが上手く出来るようになります。	プログラムを時間割のように設定し、タイムタイマーで終わりが視覚的に分かるようにしています。また、人に迷惑をかける行為について正せるように集団行動の大切さを学べる場所を作っています。	更にグループダイナミクス効果を得られるような取り組みを増やしていき、来ている子供達が同じチームであるという一体感を持てるようなグループ作りを行っていきたい。
2	活動量がズバ抜けて多いことや学校休業日のイベントが充実しています。運動能力や動作能力の改善に力を入れています。	一般的に行われている公園での外遊びや館内遊びだけではなく、日頃の療育の成果を発揮するような内容を取り入れています。	施設内に留まらず、他の施設との交流や一般の子供達と交流・対戦できるような場にも出て行きたいと思っています。
3	体の状態が整うと小学生になった時の学習への取り組み方にも繋げることが出来ます。	先に体を動かして発散することで、指示が入りやすくなります。また、真ん中(中心軸)が分かるようになり、姿勢が整います。目の機能が整い、音読や板書が出来る状態になります。	「体の準備」「心の準備」「荷物の準備」といったそれぞれの準備が出来るように取り組んでいきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	遊びを本人が選んで実施していくコンセプトとなっている為、自発的な動きがあまりない子に対するアプローチが弱い。	意思表示の弱い子に対して、時間をかけることが出来ていない。	体を動かすことに対して興味を持ってもらうこと。個別療育からスタートすることをお勧めすること。
2	運動・遊びに力を入れている為、活発に動く子しか利用出来ないと思われる。	利用者の9割以上が男の子なので、女の子が殆どいない。また、女の子も男勝りの子がばかりなので、運動が苦手な子が勢いづくに圧倒され、ついていけないと思われる。	出来る出来ないではなく、また学年や性別でもない事をどんどんアピールし、根拠を示していく。
3			